



(3) 理科

正答率の最も低かった問題は、(化学変化に関する知識及び技能と「エネルギー」を柱とする領域の知識及び技能を関連付け、水素を燃料として使うしくみの例の全体を動かせるおおもとして必要なものを分析して解釈できるかどうかをみる)問題です。

水素を燃料として使うしくみの例

水素を燃料として使うしくみの例で電気分解と燃焼を繰り返すとき、図の水の質量は、どのように考えられますか。

水の質量は  と考えられます。

水素を燃料として使うしくみの例では、水素がずっと使えます。

この水素を燃料として使うしくみの例では、水を電気分解して発生させた水素を使い続けるために、おおもとして  が必要です。

(3)  に当てはまる最も適切な言葉を水素を燃料として使うしくみの例の図の中から1つ選び、書きなさい。

(3)の正答→太陽の光(太陽)  
 電気分解又は燃焼に関する物質を、仕組み全体を動かせるおおもとして指摘しています。化学変化に関する知識と、エネルギーを柱とする領域の知識を関連付けながら分析して解釈することが苦手であると考えられます。このことの解決に向けて、授業の中でも学んだ内容について、様々な場面で活用したり、他の知識などに関連付けて考えたりする学習場面を増やしていきます。

★学力に関する課題について

- 【課題】
- 問題形式や観点別の結果から、どの教科も自分で筋道を立てて考えを記述したり説明したりすることに課題が見られます。
  - どの教科にも共通して、表面的な知識・技能になっていて、活用したり他の知識・技能と関連づけて考えたりすることに課題があります。
  - 記述式の問題に対する無解答率がどの教科でも北海道や全国平均から見てもかなり高い状況が見られます。生活質問調査の『難しいことに挑戦する』ことに対する質問に対して、肯定的な回答が低く出ています。
- 【改善策】
- ・知識・技能を日常の場面などで活用しながら理解を深める学習過程を位置づけた授業づくりを目指します。
  - ・自分で筋道立てて考え、記述することを徹底する場面を位置づけた授業づくりを目指します。
  - ・生徒にとって学びの文脈を大切にしたい授業展開を目指します。
  - ・日常の場面などから問題を見いだす学習過程を位置づけた授業づくりを目指します。

2 学習状況調査 質問用紙からの分析

(1) 学習習慣

○ICT機器について、所持率が年々上昇しています。利用に関する約束については各家庭で概ね守られているようです。

- ゲーム・SNS・動画視聴などの本校生徒の利用時間は、全道・全国平均を大きく上回っています。毎日3時間以上の長時間利用が多いことが学習時間の減少につながっていることが予想されます。
- 家庭学習の時間については、全国平均を下回り、過去2年間と比較しても1時間以上の家庭学習を確保している生徒が減少していることがわかります。
- 計画的な家庭学習については、全道・全国平均とほぼ変わりませんが、本校の昨年度の様子と比較すると減少傾向にあることがわかります。

○読書については、家庭にある本の冊数が全道・全国平均より多く、読書に対する関心の高さにつながっていると考えられます。

- 新聞に触れる機会は、本校だけではなく、全国的に見ても減少しています。

改善策

- ◎今年度より教科書等の学習道具は各自で判断して持ち帰ることになりました。学習チェックシートの活用し、計画的な家庭学習を進められるよう取り組んでいきます。
- 家庭学習強化週間や長期休業時に家庭学習プリントを配布し、家庭学習の習慣化に向けて取り組んでいきます。
- 長期休業中や定期テスト前の放課後に希望者による補充学習を行い、学力向上を進めていきます。

(2) 主体的・対話的で深い学びの視点から

分析結果

- 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますかという問いに対して、肯定的回答が8割を超え、過去最高を示し、課題解決に向けて話し合い活動を通して仲間と協働して取り組むことができていくことがわかります。
- 自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたかという問いに対して、肯定的意見が6割程度と低いものの、過去2年間と比較すると若干の上昇が見られ、自分の考えを伝える工夫をしようと努力していることが伺えます。

改善策

- ◎授業に限らず、様々な場面で話し合い活動の充実が図られていますが、今後はICTを活用した仲間との協働にも重点を置いて取り組みます。

調査を受けた生徒には、担任を通じて個人票がすでに配られています。結果を踏まえ、今後の学習に役立ててほしいと思います。今後も、東明中学校として更なる学力向上に向けた取組を進めてまいります。ご家庭でのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。  
 \*全ての問題と解答は、国立教育政策研究所のHP【<https://www.nier.go.jp/22chousa/22chousa.htm>】にて確認できます。